

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二小学校（福島県）

【取組内容①】 個別最適な学びから協働的な学びにつなぐ学習支援ソフトを活用した学習課題づくり

実践のポイント

学習支援ソフトを活用し、個々のふり返しから全体の課題づくりにつなぐ。

1. 授業の実際

4年社会科「住みよいくらしをつくる 水はどこから」

ねらい：どうすれば水を大切にできるのか。自分の考えとその根拠をもって、全体で交流する活動を通して、自分の考えを広げ、深めることができる。

2. ICTコンテンツの活用

○前時までの個々のふり返しシートから、児童の言葉を「ワードクラウド」で表示し、多用の言葉から本時のねらいにつなぐ。

○「ワードクラウド」によって、児童たちが使用してきた言葉を累積、可視化する。



ワードクラウドを表示



それぞれの考えの視覚化と共有

3. ICT機器等の活用の効果

○学習支援ソフトを活用することで、個々の学習のふり返しを累積することができた。

○課題づくりの際に、個々の学習のふり返しをタブレットで素早く表示することができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二小学校（福島県）

【取組内容①】 解説動画等を活用したふり返りによる課題解決と習熟度別による適用問題づくり

実践のポイント

クラウド型学習支援ソフトで作成した解説動画等を活用して、学習内容をふり返る。

1. 授業の実際

3年算数科「小数」

ねらい：既習事項をふり返りながら、整数＋小数の計算の方法について考え、自分にあった習熟の場を選ぶことで、計算の技能を伸ばすことができる。

2. ICT機器活用

○クラウド型学習支援ソフトの中の既習事項のまとめや前時までの解説動画をいつでもふり返りに活かす。

○習熟度別の問題を解く活動において、クラウド型学習支援ソフトによって適用問題づくりをする。



解説動画等による奇襲事項のふり返り



習熟度別による適用問題づくり

3. ICT機器活用の効果

○クラウド型学習支援ソフトを活用することで、児童それぞれが学習内容をふり返り、課題を解決することができた。

○自力解決の結果を画面で、共有・比較したことで、正答と誤答の違いが一目で分かった。

○タブレット上で作成した適用問題（間違いやすい後藤等も考える）を、互いに出し合うことができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二小学校（福島県）

【取組内容①】 個別最適な学びの学習ツールとしての一人一台端末を活用した学習内容の定着化

実践のポイント

学習課題について、タブレットPCによって調べたり、まとめたりする。

1. 授業の実際

6年社会科「世界に歩み出した日本」

ねらい：個に応じた調べ学習や問題作りを通して、児童一人一人の知識の定着を図る。

2. ICT機器活用

○「2つの戦争」について、調べるたことをクラウド型学習支援ソフトにまとめるといった、タブレットPCを学習ツールとして活用する。

○クラウド型学習支援ソフトを活用して、児童相互に問題作りとその問題を解き合う。



個に応じた学習ツールのタブレット



アプリを活用した問題づくり

3. ICT機器活用の効果

- 個に応じた学習ツールとしてタブレットを選択させ、課題について調べたり考えたりすることができた。
- クラウド型学習支援ソフトを活用して、問題を作ったり解答したりすることで、学習内容を定着させることができた。

【取組内容④】 教員研修によるICT活用に関する情報共有と教員の指導力向上

実践のポイント

ICT活用シートの作成方法と学習支援ソフト等に関する教員研修を実施する。

1. 取組の実際

- 前年度までのICT活用シート紹介と研究授業で使用する学習支援ソフトについての実技研修
- 研究授業の事後研究会等におけるICT機器の活用によって、指導者の指導・支援等のふり返り

2. ICT機器活用

- 授業実践におけるICT活用場面等を、モニターに映し出しながら、事例紹介（ICT活用シート）をする。
- 研究授業の事後研究会において、ICTの有効な活用について、情報共有を行い、研究を深める。



ICT機器を活用しての事例紹介



事後研究会におけるICTの活用

3. ICT機器活用の効果

- 研究授業をはじめ普通の授業において、ICTの活用に積極的に取り組むことができた。
- ICTの有効な活用について、情報共有と授業研究を深めながら、教職員の情報活用指導力向上に取り組むことができた。

【取組内容④】 Google for Education の活用による業務軽減

実践のポイント

Google DriveやGoogle フォームを活用することによる業務軽減等を図る。

1. 取組の実際

- Google Drive を活用した職員会議等や小・中学校との情報共有による連携
- Google フォームを活用した学校評価アンケートの実施

2. ICTコンテンツの活用

- Google Driveに職員会議要項をアップすることで、ペーパーレスを行う。
また、小中学校の教頭間のGoogle Drive上での情報の共有を図る。
- Google フォームによる学校評価アンケート回答で、集計の効率化を図る。



Google Drive上の職員会議要項



Google フォームで学校評価アンケートを実施

3. ICTコンテンツの活用の効果

- Google Driveによる小中学校教頭間での情報共有は、行事や共通事業の推進に有効である。
- 学校評価アンケートの回答をGoogle フォームで実施したことで、今後様々なアンケート調査に活用できる。

【取組内容⑤】 相馬・双葉地区（地区別研修会）におけるICT活用の実践事例の紹介

実践のポイント

地区別研修会を通して、本校のICT活用の授業実践等を域内に紹介する。

1. 取組の実際

- 前年度までのICTを活用した実践についての成果と課題から、今年度の取組を実践事例による紹介
- 他校の実践や研究協議を通して、今後のICT活用の研究実践のための新たな展開を思考

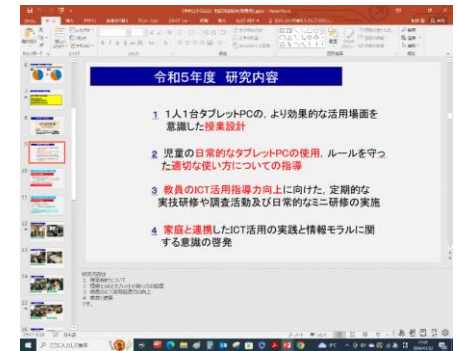
2. ICTコンテンツの活用

○Google Drive に研修会要項をアップすることで、ペーパーレスを行うとともに、予め実践事例の理解を促す。

○Microsoft PowerPoint を活用して、実践事例の内容をより分かりやすく説明する。



地区別研修会における発表の様子



PowerPointで作成した資料

3. ICTコンテンツの活用の効果

- Google Drive に研修会要項等をアップすることにより、スピーディーに研究実践に関する情報を共有することができた。
- PowerPoint によって作成した研修会要項（実践事例）は資料として累積し、今後の研究実践に活かしていく。